SPECTRONICS CORPORATION GS/PVE Series 作成:2011/12/27

更新：2012/9/1

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名: GS-1/PVE, GS-2/PVE, GS-3/PVE, GS-101/PVE

種類: ポリビニルエーテルベースの潤滑油を使用する空調・冷凍システム用蛍光剤

用途: リーク検知

製造者：Spectronics Corporation, 956 Brush Hollow Road, Westbury, NY 11590, 1-800-274-8888.

輸入総発売元　株式会社リークラボ・ジャパン　（旧社名：株式会社眞洋商会）　担当：物部　智人

大阪市港区市岡元町3－3－21　TEL.06-6582-5497　FAX.06-6582-5495

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理理化学的危険性：

火薬類	分類できない
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	該当（第四類第三石油類）
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分外
自然発火性個体	分類対象外
自然発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性個体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

人健康有害性：

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵）	分類対象外
急性毒性（吸入：ミスト）	区分４
皮膚腐食性・刺激性	区分３
眼に対する重篤な損傷・眼刺劇性	区分２B
呼吸器感作性	分類できない

皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分２
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分２（肺）
特定標的臓器・全身毒性（反複ばく露）	区分１（肺・皮膚
呼吸性呼吸器有害性	区分１

環境有害性：

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境急性有害性	分類できない

絵表示又はシンボル：

注意喚起後： 危険

危険有害性情報：

吸入すると有害（ミスト）

軽度の皮膚刺激

眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

肺の障害のおそれ

長期又は反複ばく露による肺、皮膚の障害

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き：

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

使用前に取り扱い説明書を入手すること。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

取り扱い後は手をよく洗うこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを用意に外せる場合には外して洗うこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学式又は構造式：有機化合物

製品名	成分/化学名	重量%	CAS Number	官報公示整理番号
GS-101/PVE	**蛍光染料**	**15-20**	**非公開(※)**	**非公開**
	潤滑油	**80-85**	**非公開(※)**	**非公開**
GS-1/PVE	**蛍光染料**	**5-10**	**非公開(※)**	**非公開**
	潤滑油	**90-95**	**非公開(※)**	**非公開**
GS-2/PVE	**蛍光染料**	**10-15**	**非公開(※)**	**非公開**
	潤滑油	**80-95**	**非公開(※)**	**非公開**
GS-3/PVE	**蛍光染料**	**15-20**	**非公開(※)**	**非公開**
	潤滑油	**80-85**	**非公開(※)**	**非公開**

※　潤滑油は米国ニュージャージー州商業秘密登録(＃80100312-5002P)してあります。

※　蛍光染料は米国ニュージャージー州商業秘密登録(＃80100312-5003P)してあります。

労働安全衛生法： **非該当**

化学物質管理促進法(PRTR法)： **平成21年10月1日改正法施行後の対象物質に対し非該当**

化学物質審査規制法(化審法)： **平成22年4月1日改正法施行後の対象物質に対し非該当**

毒物劇物取締法： **非該当**

4.応急措置

吸入した場合: 新鮮な空気を摂取できる場所へ移動させる。毛布等で保温し安静に保ちすぐに医師の診断を受ける。呼吸しない場合には人口呼吸する事。

皮膚へ付着した場合: 付着部分を石鹸と水で洗浄。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

目に入った場合: 最低15分間水で目を洗浄。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: すぐに医師を呼ぶこと。無理に吐かせずに医師の指示に従い嘔吐・吐出させる事。

5.火災時の措置

消火剤: 小火災には乾燥化学品、二酸化炭素、アルコール泡を使用のこと。

大火災には水のスプレー、霧を使用のこと。

使用してはならない消化剤：特に無し。

火災時の特定危険有害性：燃焼や分解の時、刺激性/毒性の蒸気を発生する可能性有り。

消火を行なう者の保護: 消火作業の際には防護・防火服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器などを着用のこと。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護服及び緊急時措置：目や肌に触れる事で、炎症を引き起こす可能性あり。吸入により目、鼻、喉に炎症を起こす場合あり。作業の際には必ず防護服を使用の事。

環境に対する注意事項：有用な情報無し。

回収：少量の場合、粘土・土または一般的に利用可能な吸収剤などの吸収剤に含ませる。シャベルで当該染料を吸収材と共にすくい、処分のためにドラムへ回収する。作業の際には必ず防護具を使用のこと。

大量の場合、盛り土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

廃棄: 廃棄物処理法に従い産業廃棄物として処理すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 常温、換気の良い場所で取り扱う。
- 目に入ると軽度の炎症を引き起こす可能性があります。保護メガネを使用するなどして目に入らないようにする。
- 皮膚に長時間触れると炎症を引き起こす可能性があります。保護手袋等を使用するなど皮膚に触れないようにする。
- 炎、火災または高温体との接近を避けるとともにみだりに蒸気を発生させないようにする。
- 取扱いの後十分に洗浄すること。

保管：

涼しく、乾燥した換気の十分できる場所に保管し、熱・点火源及び直射日光を避けること。類の異なる危険物は同一の貯蔵所において貯蔵しない事。常に容器のフタをきつく閉めること。高温多湿の場所に保管することは避ける。

どんな目的であっても容器を再利用しないこと。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策：必要に応じて通常排気装置を設ける。

管理濃度：空気中のオイルミスト露出限界：潤滑油

ACGIH TLV: 5mg/m3, 8hr　　ACGIH STEL: 10mg/m3　　OSHA PEL: 5 mg/m3, 8hr

適切な換気を行なうことによって露出限界(上記PELとTLVを参照)以下になるよう空気濃度を維持する事。

目の保護：保護ゴーグルを着用すること。

皮膚の保護：適切な保護服やグローブを着用すること。

呼吸器官の保護：蒸気/ミストの吸引を避けること。必要に応じてマスクを着用する。

その他：必要に応じて導電性安全靴を着用する。

9.物理的及び化学的特性

外観：琥珀色　臭気：軽い　物理状態：液体　比重(水＝１)：0.89　水に対する溶解度：無し

引火点：　204℃以上　発火点：測定データ無し　PH: 測定データ無し

注意：　ここで記載された物理的データは一般的な値であり、仕様として解釈されるべきではない。

10.安定性及び反応性

化学的安定性：通常の取扱い条件(常温・常圧)の下で安定。

可燃性：あり。

発火性(自然発火性・水との反応性)：自然発火性、水との反応性なし。

避けるべき条件：酸化剤と還元剤との接触を避ける。

危険な分解生成物：燃焼することで一酸化炭素や二酸化炭素を生成する可能性有り。

11.有害性情報

急性毒性：有用な情報無し。

皮膚腐食性・刺激性：有用な情報無し。

眼に対する重篤な損傷･刺激性: 軽い炎症を引き起こす可能性有り。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：目や鼻及び連続した吸入により呼吸器官に炎症を引き起こす場合がある。

長時間、又は連続した接触により炎症を引き起こす可能性有り。

生殖細胞変異原性：有用な情報無し。

発ガン性:	**ACGIH**	**IARC**	**NTP**	**OSHA**
蛍光染料	No	No	No	No
潤滑油	No	No	No	No

生殖毒性：有用な情報無し。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露：有用な情報無し。

－反複暴露：有用な情報無し。

吸引性呼吸器有害性：口、喉、及び胃の炎症の可能性有り。

既存病状の深刻化: 当該製品への接触が既存の病状を悪化、深刻化させる可能性は無い。

12.環境影響情報

生態毒性：有用な情報無し。

残留性・分解性：有用な情報無し。

生態蓄積性：有用な情報無し。

土壌中の移動度：有用な情報無し。

13.廃棄上の注意

廃棄：廃棄物処理法等に従って廃棄すること。消防法第四類第三石油類非水溶性として取り扱うこと。

特別な指示：指導が必要であるかどうか必ず適切な政府環境機関に連絡・確認すること。

14.輸送上の注意

国連分類及び国連番号：該当しない

運搬に際しては消防法危険物第四類第三石油類として扱い、容器に漏れがないことを確認し、落下・損傷しないように注意する。

15.適用法令

消防法　　第四類第三石油類

水質汚濁防止法　　油分排出規制(５mg/L 許容濃度)

海洋汚染物質：有害汚染物質に該当するかどうか有用な情報無し。ただし本製品は海洋もしくは土壌を移動し海洋に流出する可能性のある暴露はされるべきでは無い。

16.その他の情報

引用文献等:

(1) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）

(2) 「化学物質の自主的な管理の改善を目指して」（中小企業基盤整備機構）

(3) 「化学物質審査規制法対応講習会テキスト」（中小企業基盤整備機構）

(4) 化学物質総合情報提供システム（製品評価技術基盤機構）

(5) 日本工業標準調査会JIS Z 7250

記載内容：ここに記載されている情報は知りうる限りの情報に基づいて作成しておりますが万全ではありません。またいずれの情報もこれを保証するものではありません。色々危険について述べておりますが、危険の存在可能性のみを記載しているものであり補償の対象ではなく、安全の保証をするものではありません。注意事項は通常の取扱いを前提にしたものですので、化学品の適合性の最終決定責任者は使用者自らであることを理解し、用途に適した安全対策を講じた上で御利用願います。

– MSDS の終了－